



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月31日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,093	14.2	85	—	91	25.5	37	—
25年3月期第1四半期	3,585	△2.7	6	—	72	—	△140	—
(注) 包括利益 26年3月期第1四半期	221百万円 (—%)		25年3月期第1四半期		△1百万円 (—%)			

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.09	—
25年3月期第1四半期	△4.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
26年3月期第1四半期	14,702	5,291	34.1	
25年3月期	13,949	5,158	35.2	
(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期	5,015百万円		25年3月期	4,908百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	11.4	10	—	10	—	△90	—	△2.61
通期	15,000	4.0	500	26.8	500	16.6	300	116.6	8.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、(添付資料) 4 ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期1Q	36,142,529株	25年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,885,552株	25年3月期	1,883,548株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期1Q	34,258,293株	25年3月期1Q	34,632,284株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府主導による経済対策や金融緩和策の効果により円高の修正や株価の上昇が進行し、輸出関連企業を中心に企業業績が回復するなど一部で明るさが見え始めておりますが、円安による原材料価格の高騰や中国等の新興国の海外経済の停滞などが懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

染色加工業界におきましては、国内では、百貨店を中心に夏物衣料商品の販売が堅調に推移するなど店頭における衣料品販売に回復の兆しが見られますが、海外への繊維製品生産シフトによる構造的な需要減少に加え、円安による原材料価格の値上げやエネルギーコストの上昇が始まるなど引き続き厳しい環境が続いております。その一方で、当社が事業拡大を進める東南アジア地域におきましては、着実な経済成長により、購買意欲の高い中間所得層の増加が見込まれるなど、生活水準の向上による市場の大幅な拡大が期待されております。

このような状況の下、当社グループでは、更なる収益力の向上を目指し、様々な課題に取り組んでまいりました。主力の染色加工事業におきましては、グローバル化が進む顧客ニーズに対応するため、営業担当者が国内・海外工場の区別なく受注活動を展開出来る新しい営業体制の構築を進め、とりわけ需要の拡大が見込まれる海外では、タイ子会社及びインドネシア子会社ともに引き続き現地における製造インフラやサプライチェーンの整備と強化に取り組み、タイ・インドネシア国内向け及び、日本向けの受注・販売の拡大に努めました。特にインドネシアにおきましては、需要の拡大を確実に取り込むため、当社子会社の大幅な生産能力の引き上げを意図して無地染加工設備の増設を進めたほか、インドネシア産の生地品の品質向上や素材のバリエーション増加を目的に、現地織布会社への技術指導を開始しております。

また売上拡大に注力する縫製品販売事業におきましても、インドネシア一貫生産体制を活用した日本向け販売の拡大に努めたほか、非繊維事業では保育サービス事業の更なる拡大に取り組みました。

これらの成果により、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,093百万円（前年同期比14.2%増、508百万円増）となり、第1四半期としては2期ぶりに増収となりました。これは、海外子会社が大幅な増収となったことに加え、縫製品販売事業、保育サービス事業の売上が堅調に推移したことによるものです。

利益面におきましても、海外子会社の増益効果と国内染色加工事業の収益性改善により、営業利益85百万円（前年同期比13.6倍、79百万円増）、経常利益91百万円（前年同期比25.5%増、18百万円増）と増益となり、法人税等を控除した四半期純利益は37百万円（前年同期は四半期純損失140百万円）と黒字回復しております。なお、前第1四半期は大幅な四半期純損失を計上しておりますが、これは米国子会社の解散に伴う事業整理損（特別損失）の計上によるものです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①染色加工事業

染色加工事業の売上高は3,065百万円（前年同期比9.4%増、262百万円増）と増収になり、営業利益は77百万円（前年同期は営業損失17百万円）と黒字化しております。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

##### （加工料部門）

加工料部門は、国内におきまして、無地染加工では、編物加工分野の売上が新開発商品の好調な受注により比較的堅調に推移した一方で、織物加工分野は、国内市場縮小の影響により売上減少傾向が続いており、収益性を改善するために前期に集約化した事業体制のもとで生産の更なる効率化や製造コストの低減に努めました。またプリント加工では、織物・編物加工分野ともに拡大に注力するデジタルプリント加工の受注が伸びるなど全体的に堅調に推移しました。

これらの結果、国内加工料部門の売上高は、プリント加工の売上が好調に推移したものの、無地染織物加工の売上減少により全体では減収となっております。

その一方、海外におきましては、インドネシア子会社では、コスト面でユーティリティ関連費用の上昇がありましたが、旺盛なインドネシア国内需要にも支えられた結果、順調に収益を拡大しております。またタイ子会社におきましても、現地織布会社との協業により、新しい素材の加工を増やすなど、加工の高度化を進めた結果、堅調なタイ国内向けの受注に加え、日本向け加工の受注を更に伸ばし好調な業績を維持しております。

以上の結果、加工料部門の売上高は2,215百万円（前年同期比2.3%増、49百万円増）となり、国内の染色加工事業は減収となりましたが、海外子会社2社が順調に売上を伸ばしたことにより増収となりました。

##### （テキスタイル販売部門）

テキスタイル販売部門は、日本国内におきまして、衣料品、ユニフォーム向けに堅調に販売が伸びたことに加え、インドネシア子会社におきましてもインドネシア国内向けの販売が好調に推移した結果、売上高は850百万円（前年同期比33.4%増、212百万円増）と増収となりました。

#### ②縫製品販売事業

収益拡大を目指す縫製品販売事業は、インドネシア一貫生産体制を活用し、取扱い品目をアウター商品まで広げ

るなど積極的に商量の拡大に努めた結果、同事業の売上高は728百万円（前年同期比48.8%増、239百万円増）と大幅な増収となりましたが、利益面では、円安による仕入価格の上昇と物流コストが想定以上に発生した結果、営業損失9百万円（前年同期は営業利益16百万円）となりました。

#### ③保育サービス事業

保育サービス事業は、積極的な営業活動により病院等の事業所内託児所の件数を順調に伸ばした結果、売上高は377百万円（前年同期比10.7%増、36百万円増）と増収となりました。またコスト面で事業拡大を目的とした人材確保により、先行費用として人件費が増加傾向にありますが、増収効果により営業損失0百万円（前年同期は営業損失3百万円）となり損失幅を圧縮しております。

#### ④倉庫事業

倉庫事業は、国内染色加工事業の商量減少が続く厳しい環境の中、荷役取扱数量の確保に努めた結果、売上高は70百万円（前年同期比1.7%増、1百万円増）と微増となり、営業利益は4百万円（前年同期比65.3%増、1百万円増）となりました。

#### ⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は51百万円（前年同期比6.6%増、3百万円増）、営業利益は14百万円（前年同期比59.7%増、5百万円増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、14,702百万円（前連結会計年度末比5.4%増、753百万円増）となりました。これは主に現金及び預金の増加55百万円、受取手形及び売掛金の増加321百万円、建設仮勘定の増加94百万円、その他有形固定資産の増加112百万円、投資有価証券の増加90百万円等によるものです。

負債は、9,411百万円（前連結会計年度末比7.1%増、621百万円増）となりました。これは主に短期借入金の増加180百万円、長期借入金の増加389百万円、その他固定負債の増加340百万円、役員退職慰労引当金の減少262百万円等によるものです。

純資産は、5,291百万円（前連結会計年度末比2.6%増 132百万円増）となりました。これは主に四半期純利益の計上37百万円、その他有価証券評価差額金の増加59百万円、為替換算調整勘定の増加79百万円等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては、業績予想数値は平成25年5月10日公表時から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は一部の建物を除いて定率法を採用し、在外連結子会社は定額法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社においても定額法に変更致しました。

この変更は、前連結会計年度に完了した国内染色加工事業に関する生産体制の再構築を契機として設備の稼働状況等の検討を実施したところ、今後は市場環境に適した安定的な稼働が見込まれることから、国内の設備投資は現状生産能力の維持・更新を中心に行うことになり、定額法による減価償却の方法を採用することが当社及び国内連結子会社の操業状況をより適切に反映させることができると判断したため行ったものであります。

この変更により、従来の方法と比べて、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が30,080千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ30,080千円増加しております。

(4) 追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員退職慰労金制度を平成25年3月31日をもって廃止することを、平成25年1月25日開催の取締役会で決議いたしました。また、平成25年6月27日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金を打ち切り支給することとし、その支給の時期は取締役及び監査役の退任時とすることを決議いたしました。

これに伴い、該当する「役員退職慰労引当金」を取り崩し、打ち切り支給額の未払い分262,353千円を固定負債の「その他」に含めて計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,477,728	1,533,239
受取手形及び売掛金	3,601,297	3,922,903
商品及び製品	395,797	351,640
仕掛品	398,865	405,441
原材料及び貯蔵品	329,889	367,625
繰延税金資産	41,901	34,608
その他	235,671	285,504
貸倒引当金	△8,285	△11,034
流動資産合計	6,472,866	6,889,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,491,870	1,519,077
機械装置及び運搬具(純額)	1,884,074	1,882,896
土地	1,818,334	1,831,181
建設仮勘定	124,675	218,692
その他(純額)	109,742	222,544
有形固定資産合計	5,428,697	5,674,392
無形固定資産		
のれん	296	197
その他	33,885	33,204
無形固定資産合計	34,181	33,401
投資その他の資産		
投資有価証券	1,663,724	1,754,041
繰延税金資産	22,455	24,451
その他	340,162	339,127
貸倒引当金	△12,638	△12,415
投資その他の資産合計	2,013,703	2,105,204
固定資産合計	7,476,582	7,812,998
資産合計	13,949,449	14,702,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,065,689	2,078,438
短期借入金	2,183,025	2,363,417
未払法人税等	53,220	45,001
賞与引当金	45,768	43,673
役員賞与引当金	4,000	—
その他	990,688	1,004,760
流動負債合計	5,342,392	5,535,291
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,075,156	1,465,116
退職給付引当金	1,594,462	1,555,025
役員退職慰労引当金	272,894	10,223
資産除去債務	37,548	37,760
その他	438,034	778,108
固定負債合計	3,448,095	3,876,234
負債合計	8,790,487	9,411,526
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,151	1,400,151
利益剰余金	367,736	336,500
自己株式	△370,345	△370,585
株主資本合計	5,697,542	5,666,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,886	176,267
為替換算調整勘定	△906,282	△826,828
その他の包括利益累計額合計	△789,395	△650,560
少数株主持分	250,814	275,896
純資産合計	5,158,961	5,291,402
負債純資産合計	13,949,449	14,702,928



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,585,251	4,093,700
売上原価	3,120,214	3,615,857
売上総利益	465,036	477,842
販売費及び一般管理費	458,727	391,954
営業利益	6,308	85,888
営業外収益		
受取利息	12	849
受取配当金	20,358	24,894
負ののれん償却額	1,618	—
為替差益	6,415	—
還付消費税等	36,241	—
雑収入	19,075	6,925
営業外収益合計	83,721	32,669
営業外費用		
支払利息	8,591	9,075
為替差損	—	7,865
災害による損失	4,640	—
雑支出	4,045	10,302
営業外費用合計	17,277	27,244
経常利益	72,753	91,313
特別損失		
事業整理損	168,050	—
特別損失合計	168,050	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△95,297	91,313
法人税、住民税及び事業税	24,215	27,806
法人税等調整額	1,387	3,284
法人税等合計	25,602	31,090
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△120,900	60,222
少数株主利益	19,285	22,940
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△140,185	37,281

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△120,900	60,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113,616	59,380
為替換算調整勘定	233,064	101,915
その他の包括利益合計	119,448	161,295
四半期包括利益	△1,451	221,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,589	176,079
少数株主に係る四半期包括利益	29,138	45,439

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,802,990	404,388	341,003	6,060	3,554,443	30,807	3,585,251	—	3,585,251
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	85,129	—	63,269	148,399	17,120	165,520	△165,520	—
計	2,802,990	489,518	341,003	69,330	3,702,842	47,928	3,750,771	△165,520	3,585,251
セグメント利益又は 損失(△)	△17,394	16,006	△3,728	2,467	△2,649	8,868	6,218	90	6,308

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額90千円には、セグメント間取引消去188千円、のれんの償却額△98千円が含まれております。  
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,065,297	610,327	377,445	816	4,053,888	39,812	4,093,700	—	4,093,700
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	238	118,214	—	69,716	188,169	11,257	199,426	△199,426	—
計	3,065,536	728,542	377,445	70,532	4,242,057	51,069	4,293,127	△199,426	4,093,700
セグメント利益又は 損失(△)	77,798	△9,999	△764	4,079	71,113	14,159	85,273	615	85,888

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額615千円には、セグメント間取引消去713千円、のれんの償却額△98千円が含まれております。  
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載したとおり、有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は一部の建物を除いて定率法を採用し、在外連結子会社は定額法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社においても定額法に変更致しました。

この変更により、従来の方と比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、染色加工事業において29,668千円増加、倉庫事業において52千円減少、その他事業において0千円増加し、セグメント損失が保育サービス事業において464千円減少しております。